

「礼文島国際共同調査」事前学習会 第1回

「先史時代の北海道 ～もう一つの日本列島文化～」平成26年7月15日(火)13:30～15:00

講師：岐阜県文化財保護センター 三島 誠 氏

縄文時代を中心に、本州と北海道の文化のちがいや類似性について学びました！



- 本日の講師は、縄文文化の研究者であり、北海道での発掘経験もある岐阜県文化財保護センターの三島誠さんです。
- 実際の出土品に触ってみて、使われた時代や具体的な用途について推測し、太古の人々の生活に思いを馳せました。



- 稲作の始まった本州とはちがい、北海道では狩猟・採集を基本とした生活が継続していたことを知りました。

生徒の感想

- ・本州では飛鳥・奈良時代なのに、北海道では続縄文文化が続いていたことに驚いた。
- ・本州にはないオホーツク文化やトビニタイ文化に関心を持ちました。これから調べてみたいと思います。
- ・礼文島にはさまざまな人々があちこちから移り住んできたことを知りました。そんなところで調査できるなんてすごい楽しみになってきました。
- ・北海道は、私が思っているよりも、本州とは異なる点があるから、日本だけど日本とはちがう文化を形成していることが分かりました。
- ・今も昔も変わらないのは、人は生き物の生死を大切に扱っていることだと思いました。昔の人々の価値観も味わっていける研修にしていきたいと思いました。